

2022年6月20日

## ArchiTek、約11.8億円のシリーズCラウンド資金調達を実施

この度、ArchiTek 株式会社(本社:大阪府大阪市、代表取締役:高田周一、以下 ArchiTek)は、第三者割当増資を実施し、シリーズ C ラウンドで約11.8億円の資金調達を行いましたので、お知らせいたします。

### ■調達資金の用途等

当社は、独自に考案したアーキテクチャで、エッジ側での AI 処理と画像・音声処理を「ハイパフォーマンス・低消費電力・低コスト・柔軟性」の4つの条件を同時に、かつワンチップで実現するエッジAIプロセッサ「AiOnIc®」を開発しております。今回の資金調達は、AiOnIc®の量産のためのマスク製造費、AiOnIc®に搭載する他社製の回路 IP(知財)費、並びに関連するソフトウェア開発費への充当が目的です。

なお当社は、来年度中の AiOnIc®の販売開始を計画しております。その際、部品としてのチップ販売だけでなく、AiOnIc®を搭載したカメラモジュールやシングルボードコンピュータ、並びに関連ソフトウェアを発売することを計画し、より多くのユーザー様に小規模からご活用頂けるよう、鋭意開発を進めております。

### ■シリーズC資金調達引受先

本ラウンドにおける引受先は、シリーズ A・B ラウンドの投資家株主の中から、未来創生ファンドほか2社の既存投資家の他、法人投資家6社及びエンジェル投資家1名の新規投資家、並びに当社経営陣であります。この度の調達により ArchiTek の資金調達額は累計で、約21億円強となりました。

### 【シリーズ C 資金調達引受先】

#### 【既存投資家】

株式会社SMBC信託銀行 (代表取締役 荻野浩三) (特定運用金外信託 未来創生 3 号ファンド)	未来創生 3 号ファンド: 運営者 スパークス・アセット・マネジメント 株式会社 代表取締役社長 阿部修平
合同会社テックアクセルベンチャーズ (※)テックアクセル 1 号投資事業有限責任組合	本社: 東京都港区 職務執行者 大場正利
三菱 UFJ キャピタル株式会社 (※)三菱 UFJ キャピタル 6 号投資事業有限責任組合	本社: 東京都中央区 代表取締役社長 坂本信介

## 【新規投資家】

アイテック阪急阪神戦略パートナーズ投資事業組合	運営者:三井住友トラスト・インベストメント株式会社 代表取締役 阿久津 昌彦
SMBC ベンチャーキャピタル株式会社 (※)次世代企業成長支援3号投資事業有限責任組合	本社:東京都中央区 代表取締役社長 落合 昭
360ip ジャパン株式会社 (※)360ip ジャパンファンド1号投資事業有限責任組合	本社:東京都文京区 代表取締役 藤森 朝詩
SBI インベストメント株式会社 (※)SuMi TRUST イノベーション投資事業有限責任組合	本社:東京都港区 代表取締役 北尾 吉孝
日本ベンチャーキャピタル株式会社 (※)阪大ベンチャーNVCC1号投資事業有限責任組合	東京都千代田区 代表取締役社長 多賀谷 実
上記他、個人投資家	1名
上記他、法人投資家	1社

## 【その他】

当社経営陣	5名
-------	----

【注】※は、各社(無限責任組員)が運営するファンドにて引受。

## ■ArchiTek の概要

当社は、小型・低消費電力でありながら身の周り(エッジ)でスマートにAI処理と画像・音声処理が実行できるエッジAIチップ AiOnIc®(※)を独自開発したJ-Startupベンチャーです。同チップは、AI・画像・音声処理により必要な情報やデータをリアルタイムに検知・処理することができます。当社は、安全・安心な暮らしを支えるDXプラットフォームとして、同チップのグローバル展開を目指しています。

※ AiOnIc® は、AI処理と画像・音声処理をワンチップで実現できるため、小型・低コストの組み込みシステムの構築が可能となります。また、冷却ファンが不要であるため、物理的な不具合を起こしにくく、かつバッテリー駆動が可能であるため、設置場所の自由度が向上します。

## 【企業情報】

会社名 ArchiTek 株式会社  
 本社 大阪府大阪市西区北堀江1丁目1番29号  
 代表 代表取締役 高田周一  
 事業内容 エッジAI及び画像処理プロセッサの論理回路開発並びにソフトウェア販売  
 企業サイト <https://architek.ai/>

## 【本件に関するお問い合わせ】

ArchiTek 株式会社  
 取締役 CFO 藤中達也  
 Email : [pico@architek.co.jp](mailto:pico@architek.co.jp)